

沖縄県  
石垣市

# 漂着プラスチックゴミの アップサイクルによる 新たな価値創造



石垣島の漂着ゴミ問題の解決とサステナブルな社会の実現を目指して

## 経緯/活動内容

2024年11月 石垣市との連携協定の締結

2025年2月～  
市民参加型の海岸清掃活動の継続実施

連携協定に基づく活動の一環として、石垣市および合同会社縄文企画と連携し、市民参加型のアースクリーン(ビーチクリーン)を毎月継続的に実施しています。

2025年4月～  
市内の学校との協働ワークショップ

漂着プラスチックゴミを活用したアップサイクルプロダクト制作ワークショップを継続的に実施しています。高校生に加え、一般の方にも参加いただき、世代や立場を越えて資源循環について考え、共に手を動かす場づくりを行っています。本取り組みは、今後も継続する予定です。

2026年2月  
小型パーソナルモビリティ実証実験(真栄里ビーチにて)

ビーチでの新しい価値創造と地域の新たな移動手段の可能性を検証するため、歩行領域で利用可能な小型モビリティを活用し、社会受容性や安全性、利便性の検証を行いました。実証実験では、安全確保のため設置した路側物に、地域で回収した漂着プラスチックゴミをアップサイクル材として活用しました。

## 地域と当社が目指す姿

- ・漂着プラスチックゴミの削減
- ・市民の環境意識の向上
- ・漂着プラスチックゴミを活用した新たなアップサイクル製品の開発

## 協定等

石垣市との「漂着プラスチックのアップサイクル利用促進に係る連携協定」(2024年11月)

## 今後の展望

石垣市との連携活動を通じ、「誰もが自分らしく幸せに暮らせる持続可能な交流都市いしがき」(いしがきの将来像)の実現とサステナブルな社会の構築に貢献してまいります。  
当社と石垣市および合同会社縄文企画、市内の学校や関係団体等と連携し下記取り組みを進めています。

- ・漂着プラスチックゴミを活用したアップサイクル製品の製造・展示
- ・市民向けワークショップの開催
- ・市民参加型のアースクリーン活動の実施

## 石垣島の現状

石垣島は広大な海に囲まれ、陸域・海域ともに貴重な野生動植物が多く生息する美しい自然を誇っています。しかし、観光業が主要産業であるにも関わらず、海洋漂着ゴミが年々増加し、自然環境に悪影響を及ぼしており、将来的に観光業への影響が懸念されています。

## +ZEER:プラスジール「ゼロ・エネルギー・環境リゾート」の実現へ

自然環境との共生は、あらゆるフィールドにおいて、最優先に取り組むべき課題の一つです。大成建設は、これまで蓄積してきたノウハウと技術力を最大限に生かし、自然環境との共生を実現します。またグループの総合力により、人と人をつなぎ、周辺地域とのポジティブな共生関係を築いていきます。そして、豊かな自然環境を未来へと繋いでいくために、それぞれの個性を生かした提案を行い、「地域の新たな価値の創造」へと繋げていきます。

